

# 演劇が好きな人

求む！ 劇団シバイヌ演劇公演参加者募集！

演劇は、俳優、舞台美術、音響効果、照明、衣装、制作……技術と想像力が織りなす総合芸術です。演劇「はじめまして」の人も、「久しぶりにやろっかな」の人も、出演キャスト・スタッフを募集します！

“見る”のが好き？  
やればもっと好きになる！

応募はこちら



## 出演者

- 中学生以上/ 演劇経験不問
- 以下の日程に参加可能な方

**練習日** 週2回 19:30~  
@山口市内 (平日1日・休祝日1日)

※ 公演日近くは練習回数が増えます  
※ 練習日は状況により変更の可能性があります  
※ 未成年者の参加には保護者の同意が必要です

## 裏方スタッフ

- 18歳以上/ 演劇経験不問
- 以下の日程に参加可能な方

**会議や作業日** 都度日程調整します。  
@山口市内 月3~4日程度

**練習日** 適宜  
@山口市内

※ 公演日近くは練習回数が増えます  
※ 練習日は状況により変更の可能性があります

**公演日** (共通) (原則全日程)

劇団シバイヌ演劇公演「鳴り渡る空は何色」

**2023年2月25日(土)・26日(日)**

求めるもの: 協調性、素直さ、演劇に意欲のある方  
※ 審査を行う場合があります

**参加希望者説明会**

2022年7月24日(日) ①14時 ②19時  
(いずれか1回) (各回2時間程度)

会場: クリエイティブ・スペース赤れんが ホールI  
※ 参加が難しい場合は個別に対応致します。

応募はこちら

## 公演情報

# 鳴り渡る空は何色

脚本・演出 宮崎萌美

2023.  
**2/25 Sat.**  
**26 Sun.**

@クリエイティブ・スペース  
赤れんが

ある男には家族がいる。彼の娘に残された時間は少ない。  
男は変わっていく現実から目をそらすように旅へ出かける。  
気が付くと「西彼方」駅へたどり着いていた。  
そこは、人形たちが暮らす町。

身代わり人形、ダンテ。  
ぬいぐるみ、チッチ。  
花嫁人形、ミジョ。  
招き猫のムクタニ。  
そして、人形たちに慕われている頭だけ人間のカシラ。

この町は、懐かしい匂いがする。  
誰かのための、ユートピアである。  
時折聞こえるサイレンの音と、  
時の止まったような人の形をしたものたちと、  
穏やかな時間が流れる。

しかし、次第に町の均衡は崩れ出す。  
現実へ男を戻そうとする人形、町を守ろうとする人形――。

変わっていくこと、守るべきものはいつもせめぎあう。  
誰そ彼時に、彼は誰時に、町に鳴り渡る音。  
それはあなたに何を告げるだろう。



▼ ワークショップのみの参加も大歓迎！ 裏側を見たい方はどなたでも！ ▼

## 公演本番までの流れ



ワークショップ参加  
申込フォーム





クリエイティブ・スペース赤れんが開館30周年記念事業  
「日常からふみだす……赤れんが演劇days」

# 鳴り渡る空は何色

脚本・演出 宮崎萌美

## 参加者募集

参加応募締切

2022年7月31日(日)

主催：山口市、クリエイティブ・スペース赤れんが(指定管理者：認定NPO法人こどもステーション山口)  
協力：劇団シバイヌ

問合せ

劇団シバイヌ gekidanshibainu1210@gmail.com

## クリエイティブ・スペース赤れんが開館30周年記念事業 「日常からふみだす……赤れんが演劇days」によせて

コロナ禍の中、当初不要不急と言われていた文化や芸術でしたが、その機会がなくなってみるとそれは人の心にどれだけ必要なものであったか、だれもが感じたはずです。

学生演劇、社会人演劇はアマチュアとして創作活動を続け、公演という形で舞台芸術を発信しています。山口ではその活動が活発なわりに、市民が観客として接することの少ない現状があります。しかし彼らの文化芸術に向けた情熱と活動が、見えないところでじんわりと山口のまちの文化の土壌をたがやしてくれているとはいえないでしょうか。そんな「市民の演劇」を応援しつつ、市民のみなさんに広く演劇を楽しんでもらいたいとの演劇祭を開催することにしました。この機会に山口のまちの演劇人と舞台を通してコミュニケーションし、ともに山口のまちの文化芸術を醸造していければと思います。

総合芸術と言われる演劇は様々な芸術の要素が協調、調和してなりたちます。関わる人も役者をはじめおおぜいのスタッフがいる、その持ち場もまた多岐にわたります。そのようなことを念頭に置いて観劇すると演劇の魅力はいちだんと深さを増します。

文化芸術の小さな発信拠点、赤れんがは30年にわたって山口市民に愛されてきました。このたび開館30周年記念として市民の演劇にスポットを当て、「赤れんがdays」として、舞台公演ほか演劇への興味と理解を深める魅力的なイベントを開催します。演劇ファンも観劇初心者も、この機会にまるごとの演劇にふれてたっぷりとお楽しみください。



### 劇団シバイヌより

効果や結論が「今すぐ」に求められる時代において、演劇は一步ずつ対話し、何度も見つめなおす発酵型(?)タイプの場です。けれど上演では表現者と観客＝「今」を生きている私たちの感覚と身体で完成します。忍耐力が必要ですが、稽古場でも「今」を「誰か」と共有している感覚が、私はとても好きです。正解はありませんが、お互いに小さな存在証明を受け渡しているような、それがなんだかうれしいのです。

「演劇を楽しみたい、楽しませたい」という気持ちからスタートして、劇団シバイヌは結成10周年を迎えました。多くの方々に支えられて積み重ねることのできた時間です。いつもお世話になっている赤れんがさんの30周年をお祝いして、私たちと一緒に演劇をつってみませんか。



劇団シバイヌ代表 宮崎 萌美



2011年12月結成。2022年で10周年となる。山口市を中心に活動。脚本・演出宮崎萌美。日常と非現実をあいまいにした世界観で、詩的なセリフ回しで誰かが幸せになるエンドを描く。劇団員が脚本を手掛けるオムニバス形式公演、即興劇など公演形式も様々。劇団員はフットワーク軽く、客演、イベント・ラジオ・動画出演、企画など精力的に活動している。人が人を演じ、嘘がウソでなくなる瞬間のエネルギーを生で感じられるシバイヌ。吾輩たちは芝居の犬である。名前はシバイヌ。

gekidanshibainu1210@gmail.com

